

日本クラブバレーボール連盟 評議委員会会議要旨

日 時 平成 30 年 2 月 18 日 午前 9 時～

場 所 ホテルクライトン江坂会議室

評議委員会成立の確認

・本連盟規約 26 条において、評議員会は、評議員の 2 分の 1 以上出席しなければならない。
ただし、委任は出席として取り扱うことになっており、出席者 35 名 委任状 12 名 合計 47 名で評議員会の成立が確認された。

開会の挨拶

日本クラブバレーボール連盟 会長 中川 和雄

議長・議事録署名人の選出

議長 齋藤 賢一（埼玉県）

議事録署名人 増田 進（新潟県） 溝口 光一（大分県）

議 題

1、第 1 号議案 平成 29 年度日本クラブバレーボール連盟事業報告（案）について
資料（P.2～P.4）に基づき、田中理事長から説明・報告された。

（1）MRS 登録 本連盟本部役員 82% 評議委員 47% チーム登録 1371 チーム
（5%減）選手登録 25686 人（6,8%増）

（2）財政基盤

・協賛スポンサーは難しくクラブカップ 4 大会のポロシャツ販売で 20 万
円弱の収入

・HP を一新し委託費を半減

（3）連盟組織の充実と専門委員会事業の推進

各ブロックで組織の発展充実に向けブロック支援事業を実施

（4）クラブチーム関連大会の充実

①全国 6 人制バレーボール総合男女優勝大会 地域リーグのブロックラ
ウンドにクラブチームの参加が増えている

②9 人制トップライグは参戦していないが、門戸を開けておきたい

③東日本ブロック選手権大会東北の震災復興を目指し大会も 30 年度で
第 5 回を迎え、復興を目指した大会として初期の目的は達成できた
と東北ブロックが取りまとめをされた。本連盟として新たな組み
組が必要と考える。新事業や九州でのアザレアカップへも支援したい

④クラブカップ男子 56 女子 52 を目標としたい

どの大会も 47 都道府県のうち 10 県程度がチーム派遣されていない
予選参加チームの多いところは複数参加と工夫している

目標チーム数をくだらないよう競技委員会中心に検討している

(5) 指導者及び審判員の養成と資質の向上

①指導者 北信越ブロック富山市で開催 46 名の修了者を育成した

②審判研修 東日本ブロッククラブ選手権大会を活用した

2、第 2 号議案 平成 29 年度日本クラブバレーボール連盟予算執行状況（案）について
資料（P.5 P.83）に基づき、樋口総務副委員長から説明・報告された。

会計年度は 4 月 1 日に始まり 3 月 31 日に終わることから収支状況報告として、
会計年度が終了後、速やかに作成し監事による監査を受けてから書面報告する
ことをご了解願いたい。

・ 9 ブロック支援事業の詳細は P.83 を参照ください

・ HP サーバーの維持管理について、去年は 264000 円。今年度は北海道連盟に
お願いし 80000 円と節約できた

3、第 3 号議案 平成 30 年度日本クラブバレーボール連盟事業計画（案）について
資料（P.6～P.8）に基づき、田中理事長から説明・報告された。

運営の基本方針

・ 新 MRS 制度システムについて

2018 年に移行だけして課題点等みなさんと意見交換をしたい

チーム登録、選手登録 2000 円は変わらない

JVA の取り分 60%選手カテゴリー 20%残り 20%各都道府県に、役員登録は
率先して行いチーム登録 1500 チーム、選手登録 25000 人を目指す

・ クラブカップ役員ポロシャツの販売を継続 4 月中に予約 8 月配賦予定

・ クラブカップの開催分担金のあり方等検討

3 月中旬 JVA 理事会が開催され予算案が決定する

30 年度クラブカップのクラブ連盟の負担金は 300 万円

従来 500 万の負担をしていたが 200 万は JVA の予算化

長い交渉をしてきた成果がみられ、今後も負担金が減額されるよう引き続
き交渉する

連盟組織の充実

・ ブロック支援事業を継続するか新たな事業を考えるか再検討する

・ 北海道連盟の協力を得て HP の充実を図る

・ クラブチーム関連大会の充実を図る

・ 地域リーグ、それぞれのブロックで実業団が中心で実行委員会が組まれてい
るが JVA の事業なので実行委員会はクラブ連盟も参画している

・ 9 人制の普及発展のため日本バレーボール協会国内競技会検討プロジェクトが
新たにでき田中理事長が参画している

・ クラブカップだけでなくチーム、選手が望む大会を実施する

- ・クラブカップ出表枠は男子 56 女子 52 を下らないよう取り組む、満たない場合は早急に対策を進めブロック枠で最終調整する

指導者及び審判員の養成と資質の向上

- ・2017 年度から指導普及委員会がハイパフォーマンス事業本部指導者養成委員会に移管された
- ・本年度の連盟指導者講習会は福島県で開催する
- ・東ブロック大会で審判員の技術向上のため研修会を行う
本年は北信越ブロック新潟市で開催、従来東北での大会だったため協賛・広告収入が減少する可能性があるため補助金を増額、また審判員も自費での参加が多数、北信越ブロックに負担をかけないよう審判規則委員会から審判員を派遣するなど配慮する

諸会議について

平成30年は役員改選の為、通常以外に役員選考委員会を実施する
競技委員会 坂田競技委員長から説明・報告された。

- ・下段に記載通りクラブカップを中心に事業をすすめる
- ・予選大会の要項や試合結果を毎日新聞社に連絡すること
- ・出場枠の説明について、色のついている枠各県とブロックの数がイコ

ールではないので最低ブロック数を確保してください

- ・補填方法の説明
- ・9人制クラブカップ男子締切日 6月27日抽選日 7月7日
- ・6人制クラブカップ男子締切日 7月11日抽選日 7月15日
- ・締切日に間に合うように予選会をお願いします

指導普及委員会 大橋指導普及委員長

- ・指導者養成講習会要項説明
- ・講師欄が空欄 地元の講師にお願いし決定後 HP に掲載する

審判規則委員会 遠藤審判規則副委員長

- ・全国審判講習会日程

6人制 3月25日 東京

9人制 4月1日 大阪

総務委員会 福嶋総務委員長

30年度の加盟金について

質問応答

- ・9人制女子の千葉県予選大会はしたけど出場が0について質問があり、千葉県連として全国大会へは参加できないとの回答であったと報告された。

訂正 P.10 中村隆氏 推薦者を新潟県クラブバレーボール連盟→北信越ブロック

に修正する。

4、第4号議案 平成30年度日本クラブバレーボール連盟予算(案)について
資料(P.9)に基づき、樋口総務副委員長から説明・報告された。

29年度との違い役員改選のため役員選考委員会費を計上した
ブロック支援事業について事業経費 〇万円を7万円と決定した
田中理事長から予備費150万円について補足説明された。

- ・JVAから200万の負担のおかげで資金が増えた
- ・使い方は現存の事業の割り振りではなく課題解決にむけた経費負担、基本的にはクラブチームのトップのイベントというのもあるが中間層の活性化、参加意欲を高めるためにクラブ連盟として新しいイベントを考える必要がある。東日本ブロック大会のノウハウや実績を踏まえ、現在東日本ブロック理事を中心に何かひとつの目標を持った大会等ができないか検討をお願いしているところである。そういったものが出てきたとき200万を分配してしまうと新たなイベントができないので、そういうことも見据えた中で次年度の新しい事業を目指して繰越額を増やすということであえて予備費とする。30年度内に可能になれば皆様にご相談をして承認をいただき予備費から執行する。そういう事を踏まえた中での予備費である

5、第5号議案

その他

田中理事長から日本協会評議員候補者推薦について依頼があり、昨日の理事会で協議し、本連盟中川会長名で田中理事長を評議員候補者として推薦することが報告された。

深海北信越ブロック理事からミズノ杯10月20日～21日→10月13日～14日に訂正の申し出があった。

閉会の挨拶

日本クラブバレーボール連盟 副会長 橋爪 静夫

平成30年2月18日

議事録署名人

増田 達

溝口 光一